

## 私たちはここが違います

### サポート体制

#### ■定例訪問：担当者による研修生の月1定例訪問

「何か不満はありますか？」

「あの……会社は私のことをどう評価しているのでしょうか？」

「上司の〇〇さんが、いつもがんばってくれている、とおっしゃっていましたよ」

「そうですか。よかった！あ、それから……電話を引いてもいいですか？」

定例訪問時の何気ないコミュニケーション——

これは組合のサポート体制の中でもっとも重要な部分です。

入国当初、誰もが感じるであろう不安、

そして日常の些細なやりとりまで、定例訪問を通じて把握し、即対応いたします。

早い段階で、企業様と研修生のコミュニケーションの行き違いを減らせば、より大きなズレが生まれるのを防ぐことができます。

ひいては研修・実習の効率アップや失踪防止につながることを約5年間の受け入れ支援を通じて学びました。

具体的な事例やノウハウについては、直接お問い合わせください。

#### ■1企業2担当者制：日本人と現地人の2名が専属の担当者として対応

1つの企業に2名の担当者。——これには大きな意味があります。

ベトナム・中国人のサポート担当者は、同郷人としてより深いコミュニケーションを取る中で、無意識の内に研修生よりの立場に立ってしまうことがあるからです。

弊組合では、日本人担当者を企業様よりの立場の担当者と位置づけています。

バランスが一方に偏らぬようにする工夫。——それが1社2担当者制なのです。

2担当者ならではの解決エピソードについては、直接お問い合わせください。

#### ■緊急時の対応：研修生の病気など、緊急時にも即時対応

緊急時の対応は何より重要。

「うちの研修生が車にはねられてケガをしました！」

「お腹が痛いと苦しんでるんです」

弊組合やサポート担当者の携帯電話には、時折このような緊急対応を要する電話がかかります。即時に駆けつけるのが基本ですが、地理的に遠く、それが間に合わない場合もあります。弊組合では、緊急時の対応策として、母国語で書かれた緊急対応問診表に加え、地理的条件を踏まえた独自の緊急対応シート等を作成し、組合員企業様に配布いたしております。

## 日本語教育

### ■現地研修：送り出し機関で3か月間。充実した日本語研修を実施

先だって、入国式に参加した際には驚きました。

40名近い中国人・ベトナム人研修生が参加しており、彼ら全員が自分の夢や、日本でやりたいこと、趣味の紹介などを交えて、実に多彩な挨拶をしてくれたのです。

直前の詰め込みでは決してできない挨拶。——これこそ弊組合が送り出し機関と共に作り上げてきた教育プログラムの成果なのです。

### ■集合研修：日本での生活マナー・実践的な日本語研修を1か月間実施

日常生活をする上での基礎知識、生活・仕事のマナー教育にとどまらず、御社の現場で使うことになる専門用語を盛り込んだ、実践的な日本語教育を行っております。これにより研修生は、より円滑に現場に溶け込むことができます。

ゴミの分別収集——これは集合研修で最も重要な研修項目の一つです。受け入れ企業様の多くは民営の賃貸アパートを寮として使われます。

正しいゴミ出しができないと、近所からの苦情が企業様に直接来ることになってしまうからです。集合研修中、研修生は本部近くの組合寮に寝泊りします。適時組合員が指導を行うことで、多くの研修生は分別収集やご近所付き合いといった、日本独自の生活マナーを

学び、企業様に巣立って行きます。また、それでもできない少数の研修生には、定例訪問時、サポート担当者が厳しい指導を行っております。

#### ■日検合格セミナー開催：2級・3級合格者輩出の実績アリ

土曜日には、研修生を対象とした日本語検定合格に向けてのセミナーを開催しています。2006年は日本語検定2級合格5名、日本語検定3級合格率80%の実績があります。また、何と、JITCO主催の作文コンクールで最優秀者を輩出することもできました！

日本語能力が全てではありません。しかし日本語がよくできる研修生は企業様やその現場担当者様ともうまくコミュニケーションを取れるので、そうでない人と比べ、会社をより好きになり、また技術の習得も早い傾向があります。

日本語検定という目標を設けることで、より意欲的に勉強に取り組む者が多くなります。また、これに合格することは、研修生自身の人生を変えることにもつながります。

#### ■イベント企画・運営：バーベキューへの参加条件は、感想文の提出！

弊組合では、研修生同士の交流を目的としたイベントに、教育的な意味合いも持たせています。たとえば、夏のバーベキュー大会では、日本語で感想文を書くことが参加条件でした。

普段から日本語をがんばって勉強している成果を、他の研修生や企業様の前で披露する機会にするためです。多くの研修生がすばらしい作文を書いて、これに応えてくれました。

弊組合が支援する100人以上のベトナム人・中国人研修生が一同に介する機会は、普段はまったくありません。食事を楽しんだり、組合スタッフ・企業側担当者様と共にサッカーをしたり、歌をうたったり。それぞれのペースで楽しむことができます。特にサッカーは、ベトナム・中国の両国共に人気があります。去年は、組合の専務理事が率先してボールを持参し、楽しんでおりました。

## 法令遵守（コンプライアンス）

（協）関西技術協力センターでは、JITCO主任指導員を招いてコンプライアンスに関

するセミナーを開催するなど、法令遵守を徹底するため、さまざまな活動を行っています。

ただ、コンプライアンスを考える上で、最も重要視しているのは普段の活動の細かい細かい作業の集積です。書類のフォームに工夫を加え、企業様に提出をお願いする、といった本当に細かい努力の集積が、(協)関西技術協力センターの法令遵守への取り組みにつながっているのです。